

元祖 モリモリ書店

第45話 R02.10.06(火)

「他人に評価を求めるのはやめてしまおう。」

★今回、紹介する本は、『家族だから愛したんじゃない、愛したのが家族だった』(著/岸田奈美、出版/小学館)です。

福祉関係の会社「株式会社ミライロ」から独立し、作家となった著者の初単行本。これがとってもすばらしく、たくさん笑って、たくさん泣けるエッセイ。

知的障害の弟をもち、中2のときに突然の病で父を亡くし、高1のときに同じく突然の病で母は下半身付随になり、車椅子生活へー。

想像もしないようなさまざまな出来事が身にふりかかりまくる中、それを岸田さん特有のユーモラスな視点で温かく物事を見つめ、自分の思いを語っていく感じがとても心地よいです。肩の力を抜いて、自分の身のまわりにある世界をそのまま愛したいと思えるような1冊です。最近話題の写真家・幡野さんとのエピソードが特に心に沁みます。と同時に、とにかく笑えるところ(嵐の櫻井君とのエピソードや、下着のエピソードが特に笑えます…)がすてきです。気軽に、どうぞ。

岸田奈美



この本を読んだら強くなれる、たぶん。泣きながら笑う技と、怒りながら信じるコツがたっぷり書かれているからね。

阿川佐和子さん激賞!!

車いすユーザーの母、知的障害のある弟、倉造した父——情報過多な日々をつづる笑いと涙の自伝エッセイ。

タイトルがママもすこぶる。お母さんのエッセイもてめえです。

岸田さんはたくさん傷ついてたくさん苦しんできたから、こんなにおもしろい文章が書けるんだね。(p.200)

自分により影響を与えらる人の存在は自分で選べないことができる。(p.198)

「この人の前だと自分らしくいられない」という人の関係性をとても大事にしないと、いつか後悔するよ。」

